

高等学校第1学年 道徳科学習指導案

令和〇年〇月〇日（ ）〇校時
 〇年〇組 〇名
 授業者 〇〇 〇〇

1 主題名 「 平和と安全保障 」 [内容項目 〇-〇 □□□□] (例 B-6 親切、思いやり)

2 教材(資料)名 「 日米 反撃力で連帯一致 」 出典 (信濃毎日新聞 第一面)

3 主題設定の理由

ロシア・ウクライナ戦争が、続いている中、各国安全保障に関する動きがみられる。そしてこの戦争は、隣国のロシアがかかわっていて、ロシア側から敵国認定されている日本としては無視できない問題となっている。また、唯一原爆を落とされ、平和を強く主張している日本という国に住んでいるものとして、安全保障に関する動向には関心を向けるべきことだ。今回の授業で、安全保障の歴史、日本の立場、現在の動向を整理したうえで、答えが出なくても国民の1人として考えを巡らせることを目的とする。

4 本時の指導

- (1) ねらい
安全保障に関する知識を得る。平和と安全保障に関して考える。
- (2) 展開

段階	学習活動	発問と予想される生徒の反応	指導上の留意点
導入 5分	<ul style="list-style-type: none"> ・平和と日本の安全保障というテーマ発表 ・現在の世界の動向の確認 		<ul style="list-style-type: none"> ・今まさに起きている関係ない話じゃないことを伝える。 ・正解はなく、現状を正確に把握することが大切と伝える。そして、個人として考えを持つ事が出来れば尚いい。
展開 20分	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を配る ・反撃力というものを日本が保持するという表明がなされた事を伝える。 ・今回の記事の中身を理解するために日本の安全保障の歴史を振り返る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・反撃力ということを知らなかった ・そのことは知っている。 ・ニュースは知っているが、その背景に何があるかは知らない 	<ul style="list-style-type: none"> ・なるべく個人の見解や主張を盛り込まない事。 ・できるだけ事実ベースで話す。 ・間で生徒のリアクションを拾う ・生徒のリアクションに対して、肯定しつつ断定で終わらないように、質問をつけて返す

<p>後段 15分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新聞を読んだうえで、今回の日本の動向についてどう思うか、グループで意見交換をしてもらう。 ・意見交換した内容を、リアクションペーパーにまとめしていく。(ICTがあれば、タブレットに打ち込んでもらう) 	<ul style="list-style-type: none"> ・憲法違反だ。 ・反撃力は、安全保障の観点から仕方がない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室を回りながら、意見共有に詰まっているところがあれば少し話題提供する ・グループで意見交換をする前に、この件に関する様々な立場の世論を提示し、議論促進を促す。
<p>終末 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで共有したい意見があるか聞く。(ICTがあればタブレットでの情報を匿名で表示する) ・今回の授業のまとめ 	<ul style="list-style-type: none"> ・反応無し←笑顔で大丈夫と言ったあとでそのまままとめに入る。 ・反応あり←意見を聞いた上で少しリアクションし、まとめに入る 	<ul style="list-style-type: none"> ・事実ベースでとらえる事が大事。 ・様々な意見がある。どれが正解、どれが不正解いう事ではなく、自分自身がどう感じどういう意見を持つかが大事。